

議会だより



12月定例会

もくじ

・ 12月定例会	2
・ 定例会補正予算質疑	4
・ 11月臨時会、議会のうごき	6
・ 全員協議会	7
・ 視察・研修報告	8
・ 一般質問（3人が町政をただす） ...	10
・ 中学校生徒との意見交換会	13
・ 町民の声（歴史の町出雲崎を案内して） ...	14

妻入り会館 繭玉飾り

中学校校舎・体育館外壁等改修 に2億2000万円補正

会期 12月7日～15日
(9日間)

12月定例会

12月定例会

12月補正での
注目事業

中学校校舎・体育館外壁等改修 2億2000万円



劣化した外壁（中学校）

心月輪厨房改修 656万円



4月リニューアルオープン予定

ランニングマシン1台 107万円



増設により3台に（町体トレーニングルーム）

* 12月定例会で決まった補正予算 *

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第4号)	2億940万円	38億5103万円
国民健康保険事業(第1号)	3665万円	6億7965万円
簡易水道事業(第2号)	24万円	2億1934万円
下水道事業(第1号)	2310万円	1億8670万円

一般会計補正予算(第4号)

主な歳入

- 地方交付税 1億3637万円
- ※1 学校施設環境改善交付金 6666万円
- ※2 県エコパークいずもぎ第3期処分場
周辺環境整備事業交付金 1億5000万円
- ※3 財政調整基金繰入減 △3億円

主な歳出

- 心月輪厨房改修工事 656万円
- ランニングマシン購入(1台) 107万円
- 町民体育館西側窓枠シーリング改修工事 ... 383万円
- 小学校体育館床張替え工事減 △785万円
- 中学校校舎棟アスベスト除去工事減 ... △1763万円

教えて! 12月定例会

※1 学校施設環境改善交付金って何?

中学校校舎・体育館外壁等改修に使う国からの交付金だよ。

※2 県エコパークいずもぎ第3期処分場周辺環境整備事業交付金って何?

エコパークいずもぎ第3期工事に伴う県からの交付金だよ。16年間で15億5000万円交付されるんだ。

※3 財政調整基金繰入減ってどういうことかしら?

今回は当初予算で一般会計に繰り入れたお金を、基金に戻したんだよ。歳入の減額表示になるんだ。

新しい条例が
制定されました

中小企業・小規模企業振興基本条例

内容
町内の中小企業・小規模企業の振興に関する基本理念を定め、持続的な成長と発展等を促進し、地域経済の活性化や町民生活の向上に寄与することを目的とした条例制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

内容
平成28年1月からマイナンバーを含む特定個人情報情報の取扱いが開始されることにより、町税・介護・国保等の電算システムの連携事務における個人番号利用のための条例制定

人事
案件

人権擁護委員の候補者の推薦

田中宥暢氏(相田)
(平成28年4月1日から3年間)

ここが聞きたい!!

12月定例会補正予算質疑

心月輪厨房改修工事・ 公有財産購入費等

948万円

宮下議員 心月輪は良寛記念館と深い関係を持ち、大いに活用することを希望するが、今後はどのように両者をコラボさせていくのか。

町長 良寛様を慕って来る方と心月輪で食事をする方との、今までと違った新しい相乗効果を期待する。担当課を横断して取り組んでいく。

仙海議員 多額の税を投じて改修工事や調理器具をそろえる訳で、過去のようにならぬよう町としてもバックアップをするように。

町長 本人の意志も踏まえ町としてもやる以上は、姿勢を受け止めやっていく。



店内の様子（心月輪）

特殊詐欺被害防止 通話録音装置

20万円

中野議員 20戸分の予算計上だが県からの割り当てがあるのか。

総務課長 県より割り当てがある。75歳以上の独居世帯の方を対象に設置したいと考えている。



ひとごとじゃない!

農地集積・集約化促進 事業費補助金

220万円

諸橋議員 今後も中間管理機構に委託しながら進めるのか。また、基盤整備が進んできた時の農業政策をどう考えているか。

産業観光課長 中間管理機構を利用した受委託の中の出し手の方への支援であり、今後も制度の中で続けていく。

町長 制度として動いているが、行き詰る時が来るのではないかと思うので、当町に合った形態を考えていかないとならない。

中学校校舎・体育館 外壁等改修

2億2000万円

高桑議員 随分と傷んでいるのは分かるが、高額であり詳細な説明を求める。

教育課長 体育館棟が外壁、屋根等で約4000万円、校舎棟が昨年実施した外壁のparaペット（ひさし）を除いた外壁等改修で1億8000万円を予定している。財源は文部科学省の有利な起債等を充当する。



外壁の現地視察（中学校）



いよいよ始まったマイナンバー制度

個人番号カード 顔認証システム用機器

41万円

中川議員 このような機器は日々進歩するので、購入よりリースにすべきと考えるが購入の根拠は。

町民課長 国より導入の通知があり、その分の交付税措置があるため。また、個人番号カードに伴う専用のパソコン、スキャナー、ウェブカメラを購入する。

外灯修理補助金追加

15万円

三輪議員 交換する外灯はLEDになっているか。また、町の外灯か集落の外灯かを表示するよう以前言っているが、その後どのようになっているか。

総務課長 集落からの入れ替えはLEDになっている。表示については、東北電力でも進めているが、町としてももう少し整理していきたい。

障害者福祉サービス費追加

574万円

中川議員 どのような理由での増額か。
保健福祉課長 生活介護と就労継続Bに該当する方に係る経費の伸びによるもの。



12月定例議会での変更点について

12月議会では、「委員会での審議人数が少ない」「傍聴者には審議内容が分かりにくい」などの理由から、議会運営の方法を試行として一部変更いたしました。

主な変更点は以下のとおりです。

委員会で審議する議案を減らし、本会議中に審議・採決を行います

これまで、ほとんどの議案を議会初日に常任委員会や特別委員会に付託※し、議会最終日に議決していました。

12月議会から試行的に本会議を主体とし、一部を除いた議案を委員会に付託せずに本会議で審査します。

※付託：議案の審査を本会議の議決に先だつて他の機関に委ねること。

委員会で審議する議案

- ・新しい条例の制定
- ・当初予算
- ・決算
- ・請願・陳情
- ・その他、議会運営委員会で付託を必要とした議案



11月臨時会

(会期 11月2日 1日間)

臨時会では町長専決の報告、工事請負契約の締結2件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。



工事請負契約の締結

(仮称) 町宮川西集合住宅建設 (その1) 工事

契約金額 5400万円

(有)長谷川材木店

(仮称) 町宮川西集合住宅建設 (その2) 工事

契約金額 5367万6000円

(有)高坂工務店

川西地内に建設される子育て支援型住宅2工事とも入札の結果、町内業者に決定しました。
2棟(8戸)を建設し、「川西ひまわりハウス」の名称となります。

議会のついで (主なもの)

(平成27年10月～12月)

- 10・5 議会報特別委員会 (議会日より第89号)
- 6 議会モニター意見交換会 (議会日より第89号に掲載)
- 13 議会運営委員会 (議会日より第89号)
- 26 出まえ議会 (川西公会堂)
- 29 出まえ議会 (八手地区改善センター)
- 30 臨時会
- 11・2 出まえ議会 (海岸公民館)
- 4 出まえ議会 (西越地区改善センター)
- 5 第59回町村議会議長会全国大会 (東京都)
- 11 行政視察 (福岡県篠栗町、大分県豊後高田市) ↓詳細はP8
- 17 議会広報研修会 (新潟市)
- 20 総務文教常任委員会 学校視察 ↓詳細はP9
- 26 出雲崎中学校生徒との意見交換会 ↓詳細はP13
- 12・27 議会運営委員会 新年度予算編成に関する意見交換会
- 7 12月定例会招集日
- 9 議会報特別委員会 (議会日より第90号)
- 15 社会産業常任委員会
- 10 総務文教常任委員会
- 15 定例会2日目 (一般質問)
- 17 議会運営委員会
- 17 定例会最終日
- 17 全員協議会
- 17 議会報特別委員会 (議会日より第90号)
- 24 議会報特別委員会 (議会日より第90号)

全員協議会

第9回 12月15日

原子力災害に備えた 屋内退避・避難計画が 示される

総務課長 本町の原子力災害に対応した計画は、平成25年3月の町防災会議からスタートしている。平成26年10月に「対応マニュアル」を策定し、11月に八手地区で、また、今年の8月には、中学生も参加して五ヶ字地区で防災訓練を行った。

今回、屋内退避・避難計画を策定した。当町は緊急時防護措置を準備する地域である30km圏内に全町が入っており、広域避難の際は地域を分けて全町で関川村に避難することになる。

出雲崎町のホームページに掲載し、パブリックコメントによる意見照会を行つていく。それを受けて、12月24日に町防災会議において最終的に決定する予定である。

出雲崎町まち・ひと・しごと 創生総合戦略検討案示される

総務課長 地方創生の主眼点である人口減少問題の解決に向けた調査・分析を行い、「人口減少の抑制」という目標を踏まえて、総合戦略を策定した。「子ども、若者」「観光・交流者」に注目して指標を設定している。

具体的な重点指標としては、計画5年次平均目標値として

1. 未就学児数
 2. 小学校1年生入学者数
 3. 若者転入世帯
 4. 年間観光交流人口を設定した。
- 重点施策の主なものとしては途切れない総合的な子育て
- ・ 子育て支援センター開設
 - ・ 一体型放課後児童クラブ、放課後子ども教室開設
 - ・ 高校生通学費助成
 - ・ 給付型奨学金創設
 - ・ まち恋婚活応援事業
 - ・ ふるさと就職支援 など

主な質疑について報告いたします。

移住・定住暮らしのススメ

- ・ 新生活住まい支援として取得、リフォームへの支援、空き家住まいに対する減税
- ・ 空き家・空き地バンク
- ・ 集合住宅整備、宅地分譲 など

新しい感覚、創造での交流

- ・ 出雲崎まるごとオーナー制度
- ・ 観光スポットの整備
- ・ 観光周遊ルートの構築
- ・ 街並み景観形成重点地区整備
- ・ 空き家利活用による大学等の合宿誘致 など

多方面にわたる施策を着実に展開していく。

今年度2回目のまち恋を実施

総務課長 12月6日に今年度2回目となる婚活イベントをホテルニューオータニ長岡で実施した。本事業も3年目となり、定着してきたと思える。いい方向に進んでいるカップルもあると聞いており、今後に期待したい。

ふれあいの里 ヒートショック対策を

仙海議員 風呂と廊下等の温度差によって、血管の収縮により心筋梗塞や脳梗塞を引き起こすことがある。ふれあいの里で、このヒートショック対策として廊下等の温度を一定に保つよう、対策をとるべきではないか。

町長 どのような方法があるか検討して対策を講じていきたい。

ふるさと納税のPRを

三輪議員 当町ゆかりの方々の集まりである東京出雲崎会、新潟出雲崎会という素晴らしい組織がある。法人のふるさと納税も始まるが、個人の納税についても積極的にPRをしてはどうか。

町長 出雲崎会の幹部の方々と話し合いの機会を持って、前向きに進めていく。

大門町営住宅の今後は

中野議員 2棟が空き家となっているが、老朽化で傷みが進んでいる。今後、どのように対応する考えか。

町長 何らかの対策を講じなければならぬことは承知している。大門町営住宅の全体像を見直して、今後のあり方を検討したい。

海岸地域にATMの設置を

高桑議員 海岸地域には、日曜日に金融機関の現金自動預払機(ATM)が稼働しているところが一カ所もない。駅前地域では、複数箇所の稼働がある。町外からの観光客や住民にとって不便であり、日曜日にもATMを利用出来るよう働きかけられないか。

町長 しっかりと状況を調べて、改善できるよう要望していく。



視 察 研 修 報 告

福岡県 篠栗町

介護支援 ボランティア制度について

町の概要

福岡県篠栗町は福岡市から東へ約12kmのところへ位置し、人口約31600人、面積は約39km²である。総面積の約7割に山林が広がり、自然が豊かで歴史的な遺産も数多いが、近年は福岡市のベッドタウンとして発展してきた。

65歳以上の高齢者は約6500人で人口に占める割合は20%強である。

研修内容

福岡県内で最初に介護支援ボランティア制度を開始した。この制度は、65歳以上の方からボランティア登録していただき、その活動をポイントに換算し、取得ポイントに応じて交付金を支給するシステムである。ボランティア活動の対象とし

ては町や社会福祉協議会が行う介護予防事業での設営準備等の手伝いや参加支援、高齢者福祉施設での移動補助や話し相手など多岐にわたる。

平成22年4月から実施されているが、する人・される人、そして町にとっても大きなメリットがあった。

ボランティアに参加する65歳以上の方にとっては

1. 健康増進と介護予防の意識付け
 2. 社会参加と地域貢献を通して生きがいづくり
 3. ポイント交付金による介護保険料負担の実質的軽減
- 受け入れる側としては、地域とのつながりやサービスの向上。町としても介護予防による介護給付費の減少、住民の介護予防意識の醸成などである。



バーバーレスでの研修

また、介護予防事業からサークル的に発展した「歩こう会」や音楽療法を取り入れた音楽サロンなどの充実も目を引く。高齢者の進む町においても、こうした、みんなが元気な高齢者になるための取組は有効なのではないかと考える。篠栗町でもこれから、制度をさらに改善して進めたいと考えている。日常生活のなかでは、買い物やゴミ出しなどに不便を感じている方も多い。する人もされる人も笑顔になるボランティア制度、地域での日常に届く支援、届くボランティア制度を考えさせられた。(高桑佳子)

大分県 豊後高田市

「昭和の町」へつなぐ地域の活性化

市の概要

豊後高田市は大分県の北東部、国東半島の西側に位置し周防灘に面し、総面積は206.6km²で人口は23000人であり、昭和30年代までは県北地域の商業の中心地として栄えた。

町の衰退

昭和40年代、私鉄の廃線、車の社会の進展による人の流れの變化で、商店街は急速に衰退し、「商店街を歩くのは人より犬や猫の方が多い」と表現される様相となった。

衰退からの起死回生

昭和の賑わいを取り戻すため、行政、商工会議所、商店主や町づくり会社の4者が一体となり「昭和」をテーマに町の活性化に取り組んだ。昭和の建築再生として各商店のパラペットを外し昔の看板にし、昭和の商品の販売、お客との対面販売、



町づくりについて説明を受ける

観光拠点として、旧農業倉庫を利用し、多くの昭和のコレクションの展示や団体客も収容可能な和食レストランも整備して、観光客数は年間5万人を目標とした。メディアなどに取り上げられたことで30万人以上の観光客が訪れ、商店街に活気がよみがえった。

今後は神社仏閣や公園も含めた広域観光を目指している。(加藤修三)

出雲崎小・中学校視察

総務文教常任委員会視察報告

11月26日、出雲崎小学校、中学校の現地視察を行いました。

出雲崎中学校では校舎棟アスベスト除去工事の竣工状況、体育館・校舎棟の外壁改修予定について教育委員会と学校より説明を受けました。

建物は建設から42年を経過し、外壁には無数の亀裂が発生しており、早期の修繕が必要と感じました。

小学校では体育館の照明落下防止と床張替工事の竣工状況を視察しました。今までと違い明るく、きれいな体育館になり、児童が伸び伸びと体育の授業を行っておりました。また校舎避難器具設置工事については、表示方法の改善について学校に要望いたしました。

視察を終えて強く感じたことは、小中学校とも日常の施設等の管理の徹底と教育委員会との



3階にある避難器具の説明を受ける (小学校)

連携を密にして、施設の長寿命化を図り、生徒児童の安心安全な教育環境を維持する必要性を再確認いたしました。(委員長 三輪 正)

一般質問
おたずねします
お答えします

良寛記念館と心月輪周辺の今後の活用について



中川 正弘議員

心月輪の現状は

中川 平成28年3月で、心月輪の指定管理者が代わると聞く。現状はどうか。

町長 食の提供、通年営業を目指し、意欲のある方から提案の申し込みがあり、2月の臨時議会で新しい管理者を提案する。

耐震診断は

中川 心月輪の2階は構造上問題があり、多くの人をあげ

られないと聞くが、耐震診断は済んでいるのか。

町長 地震等でもさしたる被害はなかった。木造建築は梁など見れば分かる。耐震診断は必要ない。

中川 町民には補助金まで出して耐震診断を推奨しながら、目で見れば解る、必要ないとは、ダブルスタンダードである。心月輪から海が見えるようにできないか。

町長 テラスを伸ばすなど、多大な投資はできない。

中川 冬の今、海から心月輪がよく見える。すなわち枝葉を落とせば良いことで、大きな投資にはならない。

設備、指定管理について

中川 1000万円近くかけて厨房を広げ、什器備品をフル装備するが、グレードを落としても、お客様の座る椅子テーブルなど、見えるものを新しくしたらどうか。

また、1000万円もの設備投資をするのだから、家賃ではないが、幾ばくかのお金を納めていただいた方が、本人にも身が入り、かえって成功するのではないか。

町長 新しくしても、出てくる料理がおいしくなければ何にもならない。まず厨房で、椅子テーブルなどは旧来のものを使用する。今の心月輪の現状を考えると、通年で運営するのであり、管理料を定めたいと考える。

周辺の桜は

中川 出小周辺の桜の管理や、今後の対策はどうするか。

町長 専門の業者にしっかりと管理してもらう。

良寛記念館、夕日の丘公園は

中川 良寛記念館の入館者の回復策はあるのか。また一番のビュースポットである良寛と夕日の丘公園がホームページに載っていない。夕日の丘公園の活用策はどうするか。

町長 効果的にしっかりとPRしていく。ホームページはすぐに対応する。夕日の丘公園は管理を徹底的にやっていく。

中川 多大な費用をかけずとも、町一番の景勝の地である夕日の丘公園を最大限に生かす工夫をすべきでは。



今後の周辺整備を期待する (写真は良寛記念館)

地方版総合戦略は

町長 地に足をつけた確実なものに

発表の時期は

仙海 県内では23市町村で総合戦略が示されているが、当町はいつ町民に示すのか。

町長 平成28年1月中旬には概要版を全戸配布し、2月中旬には策定を行う。

内容は

仙海 当町の総合戦略はどのような内容か。

町長 子育て支援関係では

- ① 妊産婦医療費助成
- ② 子育て支援センターの開設
- ③ 高校生の通学費助成
- ④ 給付型の奨学金制度
- ⑤ 地元就職した新規卒者に支援
- ⑥ 子育て世帯等が住宅取得の際に支援金を支給や、リフォームの際にも補助を行う。



仙海 直樹議員

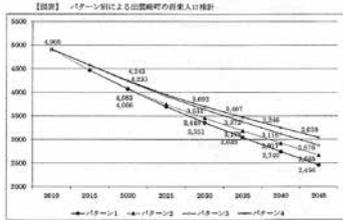
交流人口アップでは

- ① 出雲崎まるごとオーナー制度観光ルートの構築
- ② 妻入り街並み景観の利活用。

地域おこし協力隊募集

仙海 総務省の事業で地域おこし協力隊があるが農林水産業や梅組合等の従事者として募集を行う考えはないか。

町長 町総合計画審議委員会では地域おこし協力隊の視察を行っている。今後、内容を考ながら担当課で検討を行う。



人口減少に歯止めを

どうなる、

今後の介護予防

町長 平成29年4月から新しい総合事業が始まる

どのような影響が

仙海 新しい介護予防・日常生活支援総合事業がスタートするが、当町にはどのような影響があるか。

町長 これまで、全国一律だった訪問型・通所型のサービスが柔軟な基準で実施することができるようになる。

サービスの提供者もボランティア等、高齢者が支え手側に回ることもある。

仙海 町が行う事業にバワリハ等があるが、町民から3カ月経つと切られてしまうとの声がある。募集人数やマンパワーを増やし対応することはできないか。

保健福祉課長 初めはやり方を教わり、その後、地域で自主的に行うことが理想。日常の中で予防を継続して行うことが重要と考える。

デイサービスの利用は

仙海 新しい総合事業になると支援者がデイサービスを利用できなくなり、町の事業に回される心配があるがどうか。

町長 町が始める総合事業の中に、現行のスタイルのまま入れておけば、サービスが打ち切られることはない。

ポイント制度の考えは

仙海 介護支援に関わるボランティア活動を行った高齢者に対し換金可能なポイントを付与し、介護保険料の実質軽減と、高齢者の介護予防につながる介護支援ボランティア制度を行う考えはないか。

町長 介護活動以外のボランティア活動を行っている団体との公平感も感じるので、一体的に考えた中で検討したい。

観光資源を活かした町づくりを

町長 総合戦略のなかに十分盛り込んでいく



高桑 佳子議員

高台整備と観光ルート構築の構築を

高桑 町外から嫁いできた私が出雲崎がすばらしいと感じたのは、まず、海と山に囲まれた豊かな自然。次には、この町が持つ独特で重厚な歴史と文化、そして、自然体で生きられた良寛様のこのころだった。

今、地方創生の名のもと、それぞれの自治体は何を持って総合戦略をすすめていくかを模索し、踏み出し始めている。人口増が見込めない中、体力のある町づくりを進めていくために、活性化の核となるのは観光と考える。

総合戦略案のなかに観光ルートの構築事業と街並み景観利用活用事業があげられているが、天領の里をはじめとする町内の観光施設をどう繋げていくか。また、尼瀬から良寛記念館にかけての高台を整備する考えはないか。

町長 総合戦略案のなかにも盛り込んでいるように、この町の持つ潜在的な観光資源、文化、歴史を十分活かしていかなければならないと考えている。特に、津又邸の活用については、造形大学からの提言をもとに、動線の拠点としたい。

尼瀬からの丘陵部については、災害が起きた経過もあり、今現在では考えていない。

高桑 一昨年、観光ガイドの養成講座を実施し、数名の方が携わっており、効果を上げている。町づくりは人づくり、観光資源としての人材の活用も進めていただきたい。



鳴滝町の高台から見た町並

空き家の利活用は

高桑 出雲崎の景観は大変魅力的であり、絵を描く、写真を撮る、つり等、出雲崎に滞在するニーズはあると考える。出雲崎を味わっていたために、空き家を活用し貸し出す事はどうか。

町長 空き家対策は喫緊の課題であり、そこに住んでくれる方がおられるなら、リフォームなどにおいて優遇措置を講じていきたい。個々の空き家の実態を把握するよう調査をすすめている。古い家屋が好きな方もおられるので、売り込んでいきたいと考える。

住民の意見を

どう反映するか

高桑 地方創生の主役は町民であり、どんな町にしたいのか住民の意見を聞いていくことが重要である。当町の「子ども・子育て会議」、他の自治体の「若者会議」のような意見を聞くための会議を持つ考えはないか。

町長 住民の意見を聞くことは大切なことだ。役場職員も地域に帰れば家庭があり、町外から通っている者もいる。そこから住民の声を吸い上げて、総合戦略のなかにしっかりと盛り込むように指示をしている。

また、総合計画審議会、出まえ議会や意見交換会等、町内の様々な会議等が出された意見をしっかりと盛り込んでいる。既存のそういった機会での意見を今後も十分聞きながら、行政だけでなく、議会や住民との総合力で総合戦略を進めていきたい。

出雲崎中学校生徒との意見交換会

テーマ 「出雲崎の課題とは？」

11月26日、議会基本条例5条第5項に基づき、出雲崎中学校生徒と議会との意見交換会が役場議場にて行われました。

生徒からの意見

人口が減少し高齢者が多く、介護する若者もいなくなり介護ができなくなってくるため人口増加を望む。

観光客の増加について、妻入りの街並みなどアピールポイントが活かしきれてないと思う。

空き家が増加しているが、どう利用するか。

良寛記念館まで上がる階段は暗く危ないため、きれいに整備すれば記念館に観光客が増えると思う。

高齢者が多く、駅に行くのに苦勞する方も多いため、巡回バスを運行したらどうか。

学校の帰り道で、川東や松本などが暗いので外灯を増やしてほしい。

中学校から配布のプリントで不審者のことが多く出ているが、対策を考えてほしい。

店前の歩道と車道に車をまたがって止めるため、歩行者や自転車が対向車とぶつかる危険があり駐車場をつくり、そこに止めてもらいたい。

議員から

若い世代の人口比率を上げるため、町、議会も一生懸命取り組んでいます。

インターネット等で積極的にやっていかなくてはなりません、生徒さんの視点でどうPRできるかも考えてみてください。

空き地空き家バンクの登録も少ないが、利用する側と利用してもらう側の関係を密にする政策も考えていかなくてはならないと思います。

良寛記念館へ上がる階段の整備は、必要であれば実行に移せると思いますが、お金をかけて整備し効果がどれくらいあるか、利用者がどれくらいあるか、検証しなければいけないと思います。

福祉バスの必要性は議会でも認識しており、十分検討できる課題と思います。

執行部と協議して良い方向に進めていきます。

犯罪防止のため防犯カメラが設置されていますが、自己防衛を身につけることも必要で、おかしいことはすぐ学校や保護者に伝えて下さい。

店が自覚をもってやらなくてはならない。駐車場がなければお客も大変で、駐車場をつくるのも大変なことです、両方うまくマッチングさせ安全な町づくりをしましょう。

出雲崎中学校3年生 12名の方にご参加いただきました。

関本陽介さん 高桑 楓さん 佐藤洸哉さん 外山虎太郎さん 酒井麻希さん 吉田佳名恵さん
小黒遥音さん 山田美波さん 矢川耕志さん 島宗銀次さん 佐藤滉太さん 吉田快音さん

歴史の町出雲崎を案内して



藤巻 遠 藤 達 実



新津邸でのガイド案内

定年退職を機に公民館の生涯学習講座「総合大学」を受講し、現在も続けています。話を重ねるたびに色々な話が聞けて、次第に出雲崎の歴史に興味を持つようになりました。昨年からは町の観光ガイドとして町外、県外のお客様を案内して



良寛堂でのガイド案内

おります。賑わいを見せる天領の里周辺から街並みに入ると、その様子が一変し、この落差に皆さんが驚かれます。「静かな街並みですね。人をあまり見かけませんね。でも、こんなに気持ちがいいので、のんびりした気分になったのも久しぶりです。」と言われる方もたくさんいらっしゃいました。

この町外の皆様の感想をどう受け止めたら良いのでしょうか。案内する私は「静かな街並みですが、ちよつと活気がないですね。」と苦笑します。訪れる皆様が言ってくくださる「心が休まる。とても懐かしい気持ちになれる。」という昔ながらの街並みを、観光面でもっと活用できないものでしょうか。

一見何もない静かな街並みを歩きながら、点在する由緒ある建物、旧跡、口伝などを案内して、実は繁栄と栄華を極めた時代があったことを伝えようと、皆様大変驚かれます。

私はこの町が好きです。これからも、この町を多くの方々に知ってもらえるよう精進したいと思います。

表紙の小話

1月11日の成人の日、妻入り会館では毎年恒例の「繭玉飾り」が行われました。水木の枝に、子どもたちが丸めた餅をつけて、カラフルな繭玉や縁起物で飾っていきます。出雲崎らしく紙ふうせんを提げて、今年も見事な出来栄となりました。

加えて、1月末頃には天神様とつるし雛も飾られ、妻入り会館は春を先取りしたような華やかさとなります。

町内では、他にも「獅子舞」や「さいの神」など、伝統の正月行事が行われました。子どもたちは大人になった時、こうした正月の年中行事を懐かしく思い、伝えてくれるでしょうか。

そう考えると、私たちは今それぞれの世代で「繋ぐ者」であり、「伝える者」であると感じます。それぞれの地域や家庭の伝統や文化を大切に伝えていきたいものです。
(高桑佳子)



編集後記

11月に「読者とながら対話型の広報へ」をテーマに議会議員を対象とした研修会がありました。議会だよりのコミュニケーション技術について、レイアウトのポイントやラインのそろえ方、色づかいなど、全国の議会だよりのサンプルを参考に研修しました。クリニックでは当町10月発行の議会だよりを含め県内4町村の議会だよりを対象に、文字の大きさ、数字の表示を統一する等のアドバイスがありました。当町の議会だよりは昨年と比べ、表紙写真は躍動感があり内容についても、イラストが入って良くなっているとの高い評価をいただきました。「見やすく、読みやすい」を心掛けて、昨年より色づかいやイラスト、写真を多く入れて議会だよりを作ってきましたが、皆様のご感想はいかがでしょう。研修会で学んだことを活用して、更なるレベルアップをしていきますので、今後ともご意見や要望をいただけますようお願いいたします。
(加藤修三)